

CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.221 2017. 10



➤ 1～4年生保護者懇談会等を実施しました。

6月24日(土)、25日(日)の2日間、1～4年生の保護者の方を対象に、学級担任との個別懇談会を開催し、両日併せて673名の参加をいただきました。

本校では、この懇談会を学生指導上重要なものと位置づけており、学業や進路、学生生活等について懇談しました。

また、1年生学年別懇談会や2年生学科別懇談会、学寮関係者や学生相談室との懇談も設けました。保護者の方々が熱心に話を聞いている様子が見受けられ、とても有意義な時間となりました。



➤ 平成29年度第1回ブックハンティングを実施しました。

7月1日(土)、宮脇書店総本店(高松市)において平成29年度第1回ブックハンティングを実施しました。



ブックハンティングは、学生自身が希望する書籍を選び、購入することにより図書館利用を促進し、本に親しんでもらうことを目的に、年2回実施しています。

今回は14名(学生13名、教員1名)が参加し、専門書や小説、資格・試験などの書籍を熱心に探索し、選書を行いました。

なお、購入書籍は平成29年7月下旬に配架しております。

➤ 中学生が本校で職場体験学習をしました。

実社会での仕事を体験してもらおうと、新居浜市立南中学校から3名の生徒が7月4日～6日の3日間、また、同様に新居浜市立西中学校の生徒2名が、7月11日・12日の2日間、本校の図書館において職場体験をしました。

窓口業務や書架整理、図書館システムによる発注・受入れ作業などの図書館業務を体験してもらいました。

普段の学校生活とは環境が違い、緊張している様子でしたが、職員の指示に従い、どの作業にも丁寧に取り組んでくれました。

この経験を生かして、これからも色々なことに挑戦して欲しいと思います。



➤ **高校野球選手権愛媛大会に出場しました。**

7月13日(木)から始まった第99回全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校硬式野球部(低学年)が出場し、7月15日(土)、坊っちゃんスタジアムで行われた初戦で八幡浜工業高校と対戦しました。

1回に2点を先行され、3回にも失策から追加点を奪われる苦しい展開となりました。その後、梅崎(3Z)のヒットをきっかけに十亀(3D)の三塁打で1点を返し、先発の岩崎(3M)から中村(3C)への投手リレーで、中盤以降相手の追加点を阻みましたが、得意とする足を使った攻撃を発揮することが出来ず涙をのみました。ベンチや応援団の声を支えに、選手それぞれが持てる力を出した接戦となりました。



学生監督の白岡那規さん(4年環境材料工学科)は「ベンチでは3年生が前向きに声を出して頑張ったが、1勝できずに残念だ。メンバーが一新される新チームには是非頑張ってもらいたい。」とエールを送っていました。

➤ **台湾からの実習生及びインターンシップ生の成果報告会を行いました。**

7月20日(木)、中国語教育実習を目的とした台湾国立聯合大学からの短期実習生の2人及び研究室でものづくりや実験・実習を行ったインターンシップ生4人による成果報告会を行いました。短期実習生は6月19日(月)から、インターンシップ生は6月26日(月)からの約1ヶ月間にわたり、本校教員の指導のもと授業や実習等を行ってきました。また、本校学生とともに様々な活動に参加し、異文化交流を行いました。

報告会には学生や教職員が多数集まり、短期実習生及びインターンシップ生はプロジェクターを使って、授業風景や本校学生との思い出の写真を披露しました。その後、この1ヶ月間で学んだことや思い出に残っていることを発表しました。



➤ **応急手当講習会及び学寮防災避難訓練を実施しました。**

7月28日(金)、新居浜市北消防署の消防隊員を講師にお迎えし、1年生対象の応急手当講習会及び寮生を対象とした学寮防災避難訓練を実施しました。

講習会では、心肺停止の方を救うには、救急車到着までの初期処置が重要であるとの説明があり、ビデオで救命処置の手順を学習しました。救急車到着までは平均7~8分かかるということで、迅速な救命措置を施した結果、一命を取り留めた例もあり、学生らは勇気をもって対処することの重要性について理解した様子でした。

続いて実施した避難訓練では、第1学年寮生等が訓練に臨み、代表学生による避難梯子訓練、放水訓練を行いました。高所での訓練のため、初めのうちは恐る恐る実技をしていましたが、いざという時のために真剣に取り組んでいました。



➤ **本校奇術部が県知事から表彰されました。**

7月28日(金)、愛媛県生涯学習センターの県民小劇場で開催された「平成29年度青少年の非行・被害防止県民大会」の優良青少年団体及び青少年知事表彰式において、本校奇術部が愛媛県知事から表彰されました。表彰式には奇術部部長で電気情報工学科3年 鈴木 祐大さんが出席し、受賞した団体の内1番目に表彰状を授与されました。

受賞の背景としては、「夏休みなどの長期休暇を利用し、高齢者施設や学童・児童施設を訪問し、手品やジャグリングの演技披露、お手玉教室などを通じた交流活動を行っている。町おこしイベントにも参加し、観客参加型の演出を取り入れるなど、地域住民を楽しませ、交流を深める工夫も行っている。(大会冊子より抜粋)」と、地域との積極的な交流活動をしていることが評価され、今回の受賞に至りました。



奇術部は本校尚友会館の前で日々練習を重ねており、失敗を繰り返しながらも難しい演技に何度も果敢に挑戦しています。特に「お手玉」では、「日本お手玉の会」に加盟し、学校の部活動では初となる69番目の支部に認定されており、昨年10月に行われた「全国お手玉遊びの祭典」に、イベントスタッフとして運営に参加する傍ら、イベントの合間に演技披露を行い、さらに個人戦競技で入賞する等素晴らしい成績を挙げています。今後の奇術部の活躍をおおいに期待しております。

➤ **本校教員が研究・開発奨励賞を受賞しました。**

7月29日(土)、愛媛大学で開催された「軽金属学会中国四国支部 第9回講演大会」において、本校環境材料工学科の 当代 光陽 准教授が講演を行い、研究・開発奨励賞を受賞しました。

当代准教授の講演題目は、「レーザ積層造形法によるβTi合金化と結晶方位制御」で、研究・開発の内容が極めて優秀であり、軽金属に関する研究・開発の進歩に寄与するところが多大であると評価を受け、今回の受賞にいたしました。今後の活躍を大いに期待しております。

なお、当代准教授の研究内容については、本校ウェブサイトの最前線レポートにおいて紹介しております。(以下から最前線レポートのページにリンクします。)

[新居浜高専最前線レポート Vol.49\(2017.7.11\)](#)



➤ **鳥人間コンテスト2017に本校学生が出場しました。**



7月29日(土)、滋賀県彦根市の琵琶湖で開催された「鳥人間コンテスト」(主催:読賣テレビ放送株式会社)に、本校鳥人間航空研究部「新居浜高専 Team Migrant」が滑空機部門に3年ぶり6回目の出場を果たし、琵琶湖に向かって羽ばたきました。

前回出場時に1年生だった現在の4年生を中心に、環境材料工学科4年の山本無我さんがパイロット、機械工学科4年の

鈴木千晶さんが設計者として、昨年末から新機体の設計に着手し、100m以上のフライトを目指して連日連夜製作に励んできました。

出場した滑空機部門は、発進時の助走のみで滑空し、着水までの距離を競う部門です。毎年全国から多数の応募がある中、今回は事前の書類選考を通過した一般9、大学13、高専2の計24チームが参加しました。その中でも本校は、**国立高専として唯一参加しており、出場チームの中でも最年少のチーム**ということで、大変注目を集めました。

惜しくも本校の最長記録更新とはなりませんでしたが、それに次ぐ好記録を達成し、学生たちも大変喜んでいました。コンテスト当日は30℃を超える真夏日となりましたが、チャレンジ精神に溢れた“新種の鳥”たちに“大きな意味ある飛行”と“感動”を与えてもらいました。

当日の様子は、読賣テレビ・日本テレビ系列で8月23日(水)午後7時から放映されました。



➤ 平成29年度科学研究費助成事業説明会を開催しました。



8月2日(水)に、本校第一会議室と第二会議室において、科学研究費の採択件数の増加を目的とした説明会を、教育・科学教育・教育工学系と情報処理・シミュレーション系の二分野に分かれて、同時開催しました。

講師として香川大学から、教育・科学教育・教育工学系分野は総合情報センターの林敏浩教授を、情報処理・シミュレーション系分野は工学部の安藤一秋准教授をお招きし、本校教職員68名が参加しました。

申請のポイントについて、林教授から【審査員が審査しやすい申請書を目指して】、安藤准教授から【若手研究(B)と基盤研究(C)の採択経験を通じて】と題した説明がありました。

参加者は、項目毎の書き方や審査の仕組みなど、講師の経験に基づく説明に熱心に耳を傾け、質疑応答の時間には、多くの質問を寄せていました。さらに、説明会終了後には、講師に個別質問する姿も見られ、参加者の科研費採択への熱い思いがうかがえる、有意義な説明会となりました。

➤ 特別支援教育に関する研修会を開催しました。

8月3日(木)、愛媛県高機能自閉症・アスペルガー症候群親の会「ダンボクラブ」会長及び日本発達障害ネットワーク(JDDnet)愛媛代表の 田中 輝和氏をお迎えし、「発達障害の学生に対する支援について」と題して学生支援に関する研修会を開催し、多くの教職員が参加しました。

研修の内容としては、発達障害の特性や日本学生支援機構の統計に基づく問題提起、さらには大学の教職員の具体的な対応状況等を細かく説明いただきました。また、本校の特別支援に対する学生保護者の感想などもご披露いただき、保護者の視点からのお願い等についても、短い時間のなかで簡潔にご説明いただきました。

学生支援における重要な研修で、盛り沢山の内容のなか時間も超過しましたが参加した教職員も熱心に聞き入っており、学生のサポートについて学ぶたいへん貴重な機会となりました。



➤ **平成29年度夏季体験学習を実施しました。**

8月10日(木)・11日(金)の2日間、中学生を対象に夏季体験学習を開催しました。

この体験学習は、中学生にとって分かりやすく、興味を持てるようなテーマを設け、本校の施設や実験装置を使いながら中学生にもものづくりの魅力を体験してもらうとともに、進路決定の一助としてもらおうと企画しているものです。

今年度も、5学科10テーマに2日間で延べ888名の中学生が参加し、高専生や教職員のアドバイスを受けながら、ものづくりに取り組みました。

また、この体験学習に併せて、引率の教員や保護者の方を対象に、本校の紹介や進路説明等を行う懇談会を開催し、200名以上の参加がありました。

ほかにも、希望者を対象に学寮見学を実施し、寮生が居室や食堂等を案内しながら、寮生活の様子を中学生や保護者の方に紹介しました。



☆テーマ☆

機械工学科	最強のミニバイクをつくろう！ エンジンのしくみを知ろう！
電気情報工学科	音楽を持ち帰ろう！ 人を感知するおもちゃを作ろう！ Android アプリを作ろう！
電子制御工学科	ゲームプログラミングに挑戦！ ポータブルゲーム機を作ろう！ 魔法の杖を作ろう！
生物応用化学科	化学屋敷！
環境材料工学科	材料の魅力、おもしろさ、楽しさ トリプルスリーを体験しよう！環境材料工学科でよかった



➤ **小中学校理科教員及び中学校技術職員 夏季実技研修会を開催しました。**

8月18日(金)、小・中学校の理科教員及び中学校技術教員を対象に夏季実技研修会(後援 新居浜市教育委員会)を開催しました。本研修会は、児童生徒の理科や科学技術に対する興味関心を高め、知的探求心を育成することを目的としており、教員に理科実験や工作等の教材を紹介する機会として、毎年開催しています。今年度は、「プログラミングによる光の制御」「インターネットのあれこれ」「染めものを化学する」「振動発電うちわ」というテーマで研修会を行い、県内小・中学校から24名の参加がありました。



午前の研修では、LEDの点灯をコンピュータ制御する電子回路工作とプログラミング体験、また、インターネットの基礎知識に関する学習とWebブラウザのしくみを調べる実験に取り組みました。

午後の研修では、前半に、本校の夏季体験学習(生物応用化学科)で中学生が取り組んだ染め物実験を行い、後半に、本校主催で愛媛大学構内にて開催予定の「ものづくりフェスタ in 松山」で小・中学生が取り組む振動発電うちわの製作を行いました。

主催したエンジニアリングデザイン教育センターでは、身近な高専として小・中学校の理科・技術教育の一助となるよう、今後も教育支援活動に取り組んでまいります。

参加して下さった皆様、お忙しい中お越しいただき本当にありがとうございました。

➤ サマーフェスティバル in マイントピア別子に出展しました。

8月20日(日)、新居浜市のマイントピア別子において「サマーフェスティバル in マイントピア別子」が開催され、本校奇術部と電子制御工学科が参加しました。

奇術部はステージで演技を披露し、また、ビンゴ大会のアシスタントを行うなどして会場を盛り上げました。

電子制御工学科は巨大ピアノやポータブルゲーム機などを出展しました。ブースには多くの親子連れが訪れ、実際に展示物に触れ、たいへん興味を持っている様子でした。



➤ ものづくりフェスタ in 松山2017を開催しました。



8月25日(金)、26日(土)の2日間、愛媛大学の協力を得て、同大学城北キャンパスにて「ものづくりフェスタ in 松山2017」を開催しました。

この催しは、理工系に興味のある小中学生を対象に、夏休みを利用して「科学の不思議」や「ものづくりの楽しさ」を体験してもらうために開催しており、今回で13回目となります。

「光るうちわを作ってみよう!」「一度は体験してみたい 光の不思議な世界とは・・・」という2講座に、2日間でのべ154名の

小中学生が参加しました。参加者は、本校教員や補助学生のアドバイスを受けながら趣向を凝らした作品づくりや実験に熱心に取り組み、ものづくりの楽しさを満喫しました。

期間中、液体窒素実験等コーナーも設置し、講座を終えた参加者が興味深く見入っていました。

また、「受検に関する相談会」では、保護者を対象に、本校教員が新居浜高専の紹介や入試制度の説明等を行いました。



➤ 奇術部が今年も放課後児童クラブでお手玉教室を行いました。

本校奇術部が前年度に引き続き、本年度も「日本のお手玉の会・新居浜支部」と共同で市内の放課後児童クラブ(学童保育所)でお手玉教室を行いました。本年度は新居浜市市制施行80周年・日本のお手玉の会設立25周年を記念して、12月にお手玉遊び市民大会実行委員会と新居浜市教育委員会



主催の「お手玉遊び新居浜大会(仮称)」が計画されており、その中でお手玉競技の小学校対抗戦も企画されているため、特に力を入れてお手玉指導を行いました。お手玉指導の後には、小学生との交流も深めました。

以前より小学校との夏休みの重なりが少なくなりましたが、お盆明けから8月末の間にかけて行うように調整をして実施しました。部長の電気情報工学科3年 鈴木 祐大さんと副部長の電子制御工学科2年 廣木 陸也さんが中心となったローテーションを組み、ワンランク上の高度な技術やジャグリング技を披露したり、お手玉の基礎を教えたりと、大好評を得て全ての日程を終了しました。また、部長の鈴木さんは、「元気な小学生から活力をもらいました。」と話していました。

この夏休み中に、奇術部は、多くの高齢者福祉施設でも奇術の演技披露や交流を行っています。今後も活躍を期待しています。

奇術部が参加して実施したお手玉教室

日程	場所	学校名
8月18日(金)午後	ひまわりクラブ	垣生小学校
8月19日(土)午前	ひかりクラブ	中萩小学校
8月21日(月)午前	なかよしクラブ	新居浜小学校
〃 午後	ぴかっこクラブ	川東児童センター
8月24日(木)午後	すみれクラブ	宮西小学校
8月28日(月)午後	たんぽぽクラブ	金栄小学校
8月29日(火)午前	こぼとクラブ	角野小学校
〃 午後	のぞみクラブ	惣開小学校



▶ イノベーションジャパン2017に出展しました。



8月31日(木)～9月1日(金)の間、東京ビッグサイトにおいて「イノベーションジャパン2017 ～大学見本市&ビジネスマッチング～」が開催され、本校から電子制御工学科 出口 幹雄 教授が出展しました。

この展示会はJST(科学技術振興機構)とNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の主催によるもので、大学等のシーズと産業界のニーズの新たな結合により創出された研究成果を社会に還元することを目的としています。今回の来場者数は2日間で2万5千人を越える盛況で

した。

出口教授は「“センサ”を使わない超低コスト非接触物体検知センサ」と題して、最新の研究成果をブース展示してPRしました。300枚用意していたチラシが残り数枚となるほど、多くの来場者がブースを訪れ、展示技術に強い関心を示していました。今後の共同研究等への発展が期待されます。

➤ **高専スペースキャンプ in 四国 2017 を開催しました。**

8月31日(木)～9月3日(日)、新居浜市のマリンパーク新居浜及び黒島海浜公園において、「高専スペースキャンプ in 四国 2017」を開催しました。

この催しは、公益財団法人セコム科学技術振興財団から助成を受けて開催したもので、高知高専が主管校となり、本校が会場校として参加したほか、徳山高専、明石高専、岐阜高専、米子高専、群馬高専、鹿児島高専、福井高専、松江高専、大分高専、苫小牧高専の計12校が参加しました。



8月31日(木)には、日本宇宙フォーラム常務理事の吉富進先生による特別講演『宇宙デブリの現状と将来』が開催され、1日(金)には缶サット(模擬人工衛星)製作講座やモデルロケット製作講座等が行われました。缶サットは一般的な製作方法を学んだ後で、グループごとにミッション(データ取得、画像撮影、姿勢制御等の缶サットに行わせる動作)を考え、それを遂行するための缶サット製作を行い、グループによっては深夜まで作業が続きました。

2日(土)には黒島海浜公園に移動し、前日に製作した缶サットやモデルロケットを用いた実験を行いました。缶サットはグループごとに係留気球からの投下実験を実施し、モデルロケットは1人ずつ打ち上げと回収を行いました。特に缶サットの投下実験は、グループごとにミッションの達成度を競い合う

「高専缶サット大会」として実施し、各グループで様々な工夫を凝らした缶サットが登場しました。更に今年度の新しい試みとして、缶サットをモデルロケットで打ち上げ、データを取得するという実験も行われました。



このキャンプには、本事業の共同参画者である本校電気情報工学科若林 誠 講師の引率のもと、同学科5年の 大原 航 さん、平井 雄一朗さんも参加し、楽しみながら理解を深めていました。

➤ **新居浜市及び新居浜警察署と防災に関する協定を締結しました。**

9月1日(金)の「防災の日」に、本校は、新居浜市及び新居浜警察署と災害時の連携や協力に関することが盛り込まれた「災害時の協力に関する協定」を締結しました。

本校は災害時の避難所と指定されており、この協定では、災害発生時の支援協力について必要な事項を定めています。今後は、市及び警察からの要請に応じて、救助部隊の活動拠点として本校施設を提供したり、避難者へ備蓄物資を提供するなどの支援を行います。



➤ **第1回新居浜高専－愛媛大学工学部・研究交流会を開催しました。**

9月11日(月)、本校において『第1回 新居浜高専－愛媛大学工学部・研究交流会』を開催しました。この研究交流会は、両機関の教育研究連携協力を推進させるため、マッチングのしやすい研究分野の教員同士が情報交換できる場を提供するものとして初めて開催しました。第1回目は、2つの研究分野で愛媛大学工学部側から情報提供があり、両機関の教員が約2時間に渡り活発な意見交換を行いました。今後、共同での研究実施、研究資金獲得、論文公表につながることを期待されます。

「画像処理技術」

情報提供者

愛媛大学 大学院理工学研究科 木下 浩二 講師

愛媛大学 大学院理工学研究科 一色 正晴 講師

「サステイナブルエネルギー開発プロジェクト」

情報提供者

愛媛大学 大学院理工学研究科 森脇 亮 教授



また、情報提供いただいた愛媛大学の3名の先生には、地域の皆様へ研究シーズ情報を提供する「第56回新居浜高専工業技術懇談会」において、本校教職員2名と共に研究シーズ発表も行っていました。

➤ **第56回新居浜高専工業技術懇談会を開催しました。**

9月11日(月)、本校第一会議室において『第56回新居浜高専工業技術懇談会』を開催しました。この懇談会は、地域の皆様へ研究シーズ情報を提供し、産学官の情報交流を行うことにより、地域産業の発展を目指すもので、毎年開催しています。

今回は、愛媛大学から3名、本校教職員2名がこれまでの研究成果や今後の展望について、発表を行いました。

○「生物の行動パターンに基づく追跡手法」

愛媛大学 大学院理工学研究科 一色 正晴 講師

○「大気浮遊物質の小型捕集装置の開発および電子顕微鏡による分析と地域への情報公開」

新居浜高専 塩見 正樹 技術専門職員

○「動きの特徴を利用した映像解析とその応用について」

愛媛大学 大学院理工学研究科 木下 浩二 講師

○「持続可能なエネルギー開発プロジェクト」

愛媛大学 大学院理工学研究科 森脇 亮 教授

○「燃料を同時生成する光バイオ燃料電池について」

新居浜高専 数理科 矢野 潤 教授

会場は50名近い参加者で大変な賑わいを見せ、産学官の活発な意見交換の場となりました。また、本懇談会の開催に先立ち、「新居浜高専－愛媛大学工学部・研究交流会」を実施し、愛媛大学から情報提供された研究内容について、意見交換を行いました。



➤ **第2回高専生サミットにおいて優秀賞を受賞しました。**

平成29年9月13日から15日にかけて開催された、第2回高専生サミット on KOSEN Science and Technology に環境材料工学科4年の 泉 颯希さん、加藤 梨紗さん、小林 舞衣さん、二宮有砂さん、正岡 美樹さんが参加し、『Development of ferrite powder material having self-heating ability in AC magnetic field 』『Development of intelligent lunch box using induction heating 』という2件のテーマの発表を行いました。

このサミットは、課題解決型の研究から革新的な研究開発まで、学生が日々積み重ねてきた幅広い工学分野の研究活動について発表するものであり、加藤さん、二宮さんが主導する『Development of intelligent lunch box using induction heating 』の発表が実用性の高い優れた研究であると評価され、優秀賞を受賞しました。

さらに、今回受賞した本研究は、本サミットでも特に優秀な成績であると評価され、12月5日から横浜で開催される第27回 Material Research Society of Japan (MRS-J)年次大会から招待を受け、学会での招待講演を行うこととなりました。



参加した泉さんは、「英語での発表は緊張しましたが、一般教養科の平田先生にも英語のプレゼン指導をして頂き、たくさん練習して挑戦する事ができてとても貴重な経験となりました。」二宮さんは、「環境材料工学科の平澤先生だけでなく、電子制御工学科の松友先生、数理科の安里先生など学科を越えてたくさんの先生方と共同研究することにより、研究の幅がどんどん広がりました。ものづくりは、分野の垣根を越えて多くの方たちと連携することが大事だと感じました。」と感想を述べました。

➤ **奇術部が敬老祝賀会に参加しました。**

9月18日(月)の敬老の日に、本校奇術部が、新居浜市萩生の治良丸自治会館で行われた敬老祝賀会に参加し、年配の方々に演技披露を行いました。なお、奇術部がこの祝賀会に参加するのは初めてで、今回の参加をもって夏休みの社会福祉活動は全て終了しました。

また、奇術部は、8月29日に終了した[放課後児童クラブでのお手玉教室](#)以外に下記の日程において、演技の披露と交流を行っています。



下記のほぼ全ての社会福祉活動に参加した生物応用化学科5年 石川 夢子 さんは、「高専生活最後の夏休みでしたので、皆さんに喜んでもらえるように精一杯演技をしました。」と話していました。

夏休みに奇術部が行った社会福祉活動
(「放課後児童クラブにおけるお手玉教室」以外)

日程	イベント、活動場所など
8月10日(木)	音楽ア・ラ・カルトチャレンジ体験(松山市民会館)
8月20日(日)	2017サマーフェスティバル in マイントピア別子

8月21日(月)	惣開小学校・のぞみクラブ
8月23日(水)	介護プラザ・サン
8月30日(水)	金栄小学校・たんぼぼクラブ
9月2日(土)	デイサービスセンター・ピッパラ
9月6日(水)	ケアプラザ・サン愛 坂井事業所
9月6日(水)	中央児童センター
9月18日(月)	治良丸自治会・敬老祝賀会

➤ **平成29年度外国人留学生研修旅行を実施しました。**

留学生に日本の文化や歴史を学んでもらうとともに、[留学生チューター](#)との交流を活発にすることを目的として、9月21日(木)・22日(金)の2日間、中国地方への研修旅行を実施しました。留学生6名とそのチューター5名が参加し、日本の伝統的文化や歴史的建造物等を巡ることで、より一層理解を深めました。

初日の広島城では、建造に関する歴史的背景を学ぶとともに、水堀越しに見える美しい天守閣の風景を堪能しました。その後、工場見学の一環としてマツダミュージアムを訪れ、日本が世界に誇る自動車技術の歴史や、次世代型自動車について学びました。日本三景の一つとして知られる宮島では、世界遺産の厳島神社を見学しました。2日目は広島平和記念資料館において戦争の悲惨さや平和の尊さを学びました。その後、岡山和気ヤクルト工場を訪れ、実際の生産過程を見学したり、工場内で生産された生産品の試飲などを行いました。天候が心配される中ではありましたが、秋空のもと、研修旅行を実施することができました。



留学生は日本語の授業等を通じて日本文化を学んでいますが、実際に訪れ、体験・見学することで理解がさらに深まった研修旅行となりました。

➤ **平成29年度学校見学会を開催しました。**

9月23日(土)に中学生とその保護者を対象とした学校見学会(オープンキャンパス)を開催し、愛媛県を中心に、香川県、徳島県、広島県、兵庫県、奈良県の中学校55校から、延べ397人の参加がありました。

参加者らは全学科コースと学科別コースに分かれ全体説明を受けた後、本校学生や教員の案内で施設・各学科の紹介、実験・実習施設の概要説明を受けるとともに、実験実習を中心とした模擬授業を体験しました。また、希望者には学寮見学も実施しました。



さらには、今年度から本校の誇る“スゴい設備”を見学するミニイベントを実施し、多くの参加者が本校の最新設備を見学しました。

終了後のアンケートでは、「説明がとても分かりやすく、興味が持てた。」「他の学校にはないような設備を見学することがで

きて、とても参考になった。」「先生方がとても親切で、アットホームな雰囲気良かった。」などの感想が寄せられました。

➤ **アカデミック・ハラスメント講習会を開催しました。**

9月26日(火)、NPO法人アカデミック・ハラスメントをなくすネットワークの御輿 久美子 代表理事をお迎えし、「アカデミック・ハラスメント —しない・させない学校づくり—」と題して、講演会を開催しました。

この講演会は、アカデミック・ハラスメントへの理解を深めることにより、ハラスメント防止についての意識の高揚を図り、より良好な教育・研究の環境を形成することを目的としたものです。

講師の御輿理事から、大学等での具体的な事例を用いてハラスメントが起こる原因と防止するための注意事項について説明があり、今後の教育・研究現場でのコミュニケーションについて考える貴重な機会となりました。



➤ **奇術部が「第41回一宮グループ慈善諸団体慈光園訪問」に参加しました。**

9月30日、本校奇術部が一宮グループ主催の「第41回一宮グループ慈善諸団体慈光園訪問」に参加しました。養護老人ホーム新居浜市立慈光園への訪問は、前年度に引き続き2回目となります。夏季休暇明けの最初の慰問活動となりましたが、最高の演技を披露しました。また、様々な慈善団体が日本舞踊やフルート演奏、フラダンス等を披露していました。



終了後、一宮グループの担当者は、「多くの慈善諸団体の方と交流や情報交換などを行い有意義な1日でした。」と述べ、奇術部の副部長である電子制御工学科2年の 廣木 陸也 さんは「年配の皆さまに楽しんでいただき、とても嬉しかったです。もっと練習して、さらに笑顔をお届けできるよう頑張りたいです。」と話していました。

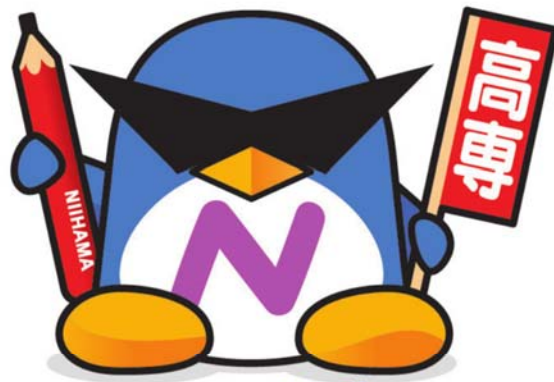
➤ **平成29年度学生表彰式及び定期学生大会を実施しました。**

10月2日(月)、平成29年度学生表彰式を実施しました。本校では、課外活動に卓越した成果を収め本校の名誉を高めた者及び学生の模範として推奨できる行為または功労等のあった者が表彰されます。

今回は、全国高専体育大会準優勝や優良青少年県知事賞を受賞した者、資格等を取得した学生らがそれぞれ表彰されました。

その後、定期学生大会を行い、学生会による会計報告等のほか、国領祭執行委員からの国領祭へ向けた挨拶がありました。





技術で羽ばたけ
世界へ未来へ
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜工業高等専門学校

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842